

# ちゅうおう

第205号 2023年



(令和5年9月19日豚熱ワクチン接種風景)

長崎県県央振興局農林部（中央家畜保健衛生所）

〒854-0063 長崎県諫早市貝津町3118

TEL 0957-25-1331（代）（休日、夜間も携帯電話に転送されます）

FAX 0957-25-1332

E-mail 衛生課：s34500@pref.nagasaki.lg.jp

防疫課：s34510@pref.nagasaki.lg.jp

検査課：s34520@pref.nagasaki.lg.jp

[家保HP]



[防疫課]



HP：<http://www.pref.nagasaki.jp/section/ko-chuokatiku/index.html>

- [目次]
- P.2… 豚熱の発生に最大限の警戒を！！
  - P.3… 豚熱ワクチン接種始まる
  - P.4… 今シーズンも鳥インフルエンザの大流行の可能性は極めて高い！
  - P.5… 牛の“腸管”リステリア症の発生について
  - P.6… 毎月1日は「ながさき防疫の日」です  
第47回九州管内系統和牛枝肉共励会

# 豚熱の発生に最大限の警戒を!!

令和5年8月30、31日に佐賀県唐津市の2農場において、相次いで豚熱の発生が確認されました。

平成30年9月に岐阜県で26年ぶりに発生して以降、今回の佐賀県の2例を含め89例の発生が確認されています。令和2年12月の61例目以降はいずれもワクチン接種農場での発生であり、ワクチン非接種農場における発生は約3年ぶりです。

本県を含む九州各県で野生いのししの検査を実施していますが、現在まで陽性事例は確認されていません。しかしながら、今回2例が続けて発生したことを踏まえると環境中にウイルスが存在し、野生いのししが保有していることは否定できません。飼養衛生管理基準の徹底等による**ウイルスの侵入防止対策が非常に重要**です。

## ■飼養衛生管理の徹底

特に下記の点の徹底をお願いします。

- ・衛生管理区域への必要のない者が衛生管理区域内に立ち入ることがないようにしてください。
- ・衛生管理区域に入る車両については、必ず消毒を実施してください。
- ・防護柵や豚舎にいのしし等の野生動物が侵入可能な箇所がないか点検するとともに、破損等が認められた場合は直ちに修繕を行ってください。
- ・豚舎ごとの長靴を設置し、立ち入る際は確実に交換を行ってください。

STOP!

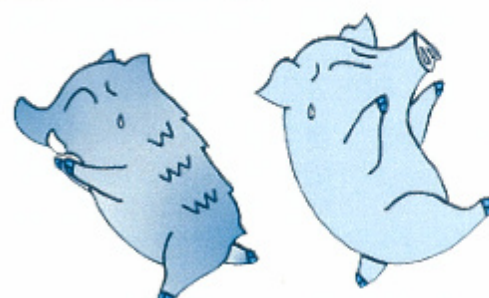


死亡頭数の増加など異常が認められた場合は、直ちに家畜保健衛生所へご連絡ください。

## 山林に立ち入る畜産関係者の皆様へ

～豚熱ウイルスの拡散防止にご協力をお願いします!!～

現在、野生いのししにおける陽性事例は山口県まで確認されており、長崎県においても検査を強化しています。今後、狩猟や登山、キャンプ等で山林に立ち入る際は、ウイルスが侵入していることを想定して、下記の対応をお願いします。



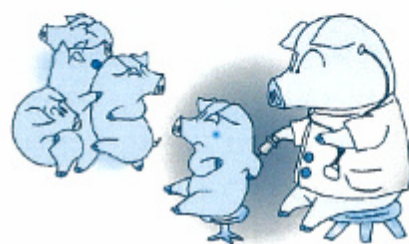
- ・感染したいのししは糞便中などにウイルスを排出し、環境中を汚染します。直接いのししに接触しなくても、ウイルスが土に含まれている可能性もありますので、山林に入った場合は、**靴の泥は山林で必ず落とす**ようにしてください。
- また、**タイヤや靴底は可能な限り洗浄し消毒**を行ってください。
- ・山などで飲食物を捨てるといのししを誘引する要因となりますので、**飲食物は捨てずに必ず持ち帰って**ください。
- ・山林に立ち入ったあとは、**養豚場へ近寄らない**ようにしてください。
- ・万が一いのししの死体を発見した場合は、市町又は家畜保健衛生所までご連絡ください。

# 豚熱ワクチン接種始まる

佐賀県唐津市の養豚場で「豚熱」が発生したことを受け、国が九州7県を豚熱ワクチン接種推奨地域に指定し、本県では9月19日からワクチン接種が開始されました。

中央家保管内においても、9月19日から家畜防疫員、知事認定獣医師及び登録飼養衛生管理者による接種を開始し、10月12日までに全39農場における初回接種が終了しました。

なお、九州においては、9月27日までに全県でワクチン接種が開始されています。今後も下記に留意し、適切なワクチン接種をお願いします。



## ■ワクチン接種豚のマーキング

ワクチン接種後、接種豚にマーキングするとともに、ワクチン接種豚をと畜場などへ移動する場合は、確実に背部に「V」の字をマーキングしてください。

## ■接種頭数・使用ワクチン数量等の記録

受入日、接種日、返却日ごとに「受入本数」、「接種頭数」、「使用本数」、「返却本数」、「在庫本数」を「豚熱ワクチン受払簿」（知事認定獣医師：別記様式第10号、登録飼養衛生管理者：別記様式第14号）に記録してください。

## ■実績報告書の提出

実施月の翌月10日までに「豚熱ワクチン使用実績報告書」（知事認定獣医師：別記様式第9号、登録飼養衛生管理者：別記様式第13号）を家畜保健衛生所へ提出してください。なお、実績報告書の提出時には「豚熱ワクチン受払簿」の当該月分の写しも提出してください。

ワクチン接種農場であっても発生リスクがゼロになるわけではありません。過去の事例では、特に、移行抗体にバラツキがある離乳豚において感染してしまう事例が多く確認されています。**ワクチン接種後も飼養衛生管理を徹底し、農場内にウイルスを侵入させないことが非常に重要です。**

また、最も感染リスクが高い離乳豚については、今後、まず母豚の抗体保有状況を調査し、その後、その産子の抗体保有状況も調査することで農場毎の傾向を把握し、より適切なワクチン接種日齢について検討を行っていきます。



## 愛玩用であっても接種の対象です。

豚熱ワクチン接種は、家畜として飼養されている豚だけではなく、愛玩用等も含め飼養されている全ての豚及びいのししへの接種が義務づけられています。

愛玩用の豚等への接種は、家畜保健衛生所が実施しますので、豚やいのししを飼養していて、定期報告等で家畜保健衛生所に届出をされていない場合は、ご連絡をお願いします。



ワクチンを接種した豚は、ワクチン非接種地域である北海道へは移動できません。

# 鳥インフルエンザ発生予防対策の徹底をお願いします ～今シーズンも大流行の可能性は極めて高い！～

現在の世界情勢から、今秋以降、渡り鳥の飛来によって高病原性鳥インフルエンザウイルスが国内に侵入する可能性は極めて高く、本年も10月5日に北海道の死亡野鳥で高病原性の鳥インフルエンザウイルスが確認されています。

飼養者の皆様におかれましては、下記の事項を重点に、飼養衛生管理基準の不備がないか、**農場内の再点検を行い、不備が確認された場合には速やかに是正していただく**など、発生予防対策に努めてください。



## ■重点対策期間

10月～5月末まで警戒強化。危機感を持って発生予防対策徹底に努めて下さい。

## ■発生予防対策

### ○農場・鶏舎入出時の対策

- ・鶏舎ごとの専用長靴の着用および踏み込み消毒槽による消毒（消石灰乳を推奨）
- ・手指消毒の徹底
- ・車両消毒の徹底
- ・農場専用衣服に更衣する際の交差汚染防止対策

### ○農場周辺環境整備（野鳥や野生動物の侵入防止対策）

- ・こぼれ餌の片づけ、野生動物の隠れ場所となる物品の片づけ
- ・家きん舎周辺に草藪、実のなる植物、巣作りや止まり木に利用される枝等がないように草刈りや木の剪定・伐採等
- ・ネズミの駆除

### ○施設の点検・補修

- ・防鳥ネットの点検・補修
- ・鶏舎壁面の隙間の点検・補修
- ・集卵ベルト、除糞ベルト開口部の隙間（停止時の野生動物侵入防止対策）
- ・屋上のモニター（防鳥ネットの設置・点検・補修）
- ・換気扇開口部（停止時の野生動物侵入防止対策）



# 牛の“腸管”リステリア症の発生について

「リステリア症」はご存知でしょうか。*Listeria monocytogenes* という微小な桿菌が原因となって、牛や羊などの反芻獣において脳炎や敗血症、流産が起こる病気です。今回、県内の肉用牛において、一般的な病態とは異なる「腸炎」タイプのリステリア症の発生がありましたので、ご紹介します。

## <発生状況>

- ・黒毛和種繁殖雌牛14頭中2頭が、**発熱、元気消失、水様性下痢**を呈し、うち1頭（28か月齢、雌、妊娠47日目）が**発症後2日で死亡**したため病性鑑定
- ・給与飼料は、WCS、稲わら、青刈り、配合飼料。発生時、**WCSは変敗しており、変敗部分を取り除いて給与していた**とのこと

## <病性鑑定成績>



空腸粘膜の充血・肥厚



壊死性空腸炎

- ・剖検所見で、空腸～直腸粘膜の充血・肥厚や腸間膜リンパ節の腫大が認められ、病理組織学的検査で、空腸～直腸粘膜に、単核細胞の重度浸潤、リンパ管炎を伴う**壊死性腸炎**を確認
- ・細菌検査で、主要臓器（肝臓、脾臓、腎臓、肺）、腸間膜リンパ節、空腸および盲腸内容物から ***L. monocytogenes* (血清型4b)** を分離
- ・その他の細菌、ウイルス、寄生虫の関与なし

## <まとめ>

- ・*L. monocytogenes* は、環境中に広く分布し、菌に汚染された土壌、野菜、サイレージ等を経口的に摂取することで感染します。口腔粘膜から侵入すると脳炎を呈し、腸管粘膜から侵入すると、敗血症、流産、乳房炎を呈すとされていますが、腸炎の発生はあまり一般的ではなく、非常に珍しい「腸管」リステリア症の発生でした。
- ・本病の発生要因として、変敗したサイレージの給与が最も疑わしいとされています。**牛をリステリア症から守るため、変敗したサイレージの給与は絶対に行わないでください。また、変敗部分を取り除いても、菌やカビの胞子が飼料全体に広がっている恐れもありますので、変敗した飼料は全て廃棄してください。**



# 毎月1日は「ながさき防疫の日」です。

長崎県では令和5年8月から、毎月1日を「ながさき家畜防疫の日」として取り組んでいます。昨年、本県で初めて高病原性鳥インフルエンザが発生しましたが、全国的にも26道県84事例の発生があり、大きな被害となりました。

また、今年8月30日、佐賀県唐津市で豚熱の発生が確認され、近隣諸国での口蹄疫やアフリカ豚熱の発生も確認されていることから、病原ウイルスの農場への侵入防止対策が重要です。家畜伝染病の発生を防止するため、家畜生産者のみならず畜産関係者が一丸となって防疫強化に取り組みましょう。

**農家の皆様には、毎月1日にチェックリストを用い、飼養衛生管理基準の遵守状況についてセルフチェックを実施し、不備が認められた場合は迅速な改善をよろしくお願いいたします。**

畜産関係者の皆様には、実践7項目(農場出入時の対策)の再確認をお願いします。

## ■衛生管理区域に入る際の措置

- ①立入台帳への記入
- ②車両消毒
- ③手指の消毒等
- ④長靴の消毒
- ⑤衣服の消毒



↑農場出入口の消石灰散布、看板の設置等



## ■畜舎に入る際の措置

- ⑥手指の消毒等
- ⑦長靴の消毒



↑衛生管理区域出入り時の長靴の消毒

# 第47回 九州管内系統和牛枝肉共励会

第47回九州管内系統和牛枝肉共励会が、9月2日、JA全農ミートフーズ(株)九州営業本部において開催されました。本共励会は、九州・沖縄8県からそれぞれ選抜された120頭(各県15頭)が出品され、脂肪交雑などの肉質等級等を競い、和牛の肥育技術の向上と肉質改善を目的として毎年開催されています。

本県は独自取組として、長崎県内産素牛で、1代祖は長崎県有種雄牛という条件で取り組んでいます。そのような中、**横山誠さん(JAながさき県央)**が銅賞1席に選出されました。おめでとうございます！

今後とも繁殖・肥育生産者・畜産関係者が一体となり、「長崎和牛」の更なる振興を図ってまいりたいと思います。

横山さんの結果は以下のとおりです。



月齢	父	2代祖	3代祖	枝肉重量	歩留	格付	BMS
28か月齢	金太郎3	百合茂	安福久	508.2kg	65.8%	A5	12